



わかき真珠のアクセサリー作り体験について

- ▶体験場所 わかき真珠作業場(愛南町赤水23-3)
- ▶制作物 ペンダント、ブローチ、ピアスなど
- ▶営業時間 9:00~17:00(年末年始は休み)
- ▶所要時間 1時間~2時間
- ▶対応人数 2~20人
- ▶体験料金 体験料の他に材料費が必要
- ▶予約方法 希望日の前々日までに電話(090-1176-9657)でお申し込みください。



わかき真珠
ホーム
ページ

組子細工について

組子細工とは、釘を使わずに数ミリメートル程度の細かな木片を組み付けてさまざまな模様を作る日本建築の建具の装飾技法です。

主に和室の障子や欄間などに用いられ、鎌倉時代から現代まで長い年月をかけて磨きぬかれた歴史があります。

組子は木材(主にヒノキやスギ)を使用するため、木それぞれの特性を熟知し、わずかな誤差も許されない精巧な技術を身につけた職人技が必要となる伝統工芸です。

あいなん逸品図鑑 その⑩



「真珠のアクセサリー」

わかき真珠

若木 ^{みず}瑞さん(赤水)



愛媛CATV
動画



▲自身が育てた真珠で制作したアクセサリーを手に笑顔を見せる若木瑞さん。

自身が御荘湾で大切に育てた真珠を用いて、赤水で真珠のアクセサリー作りを行っている若木瑞さん。本業の真珠養殖の傍ら、作業が落ち着いた時期や商品の注文が入ったときなどに制作活動に取り組んでいます。

一見同じように見える真珠も一つ一つ形や色、大きさなどが異なり、「その一粒が世界に一つしかない」ことが真珠の最大の魅力であると力を込める若木さん。アクセサリー作りを行う上で特に意識していることは、それぞれの真珠の個性を見極め、最も美しく輝くようにその特徴を生かすことです。

現在はペンダントやブローチ、ピアス、タイタックなどを制作しており、愛南町ご当地キャラクターのな一しくんのタイタック制作においては、専門の職人と話し合っって枠を作り上げ、最後に自らが真珠を取り付けることで一つの製品として完成させました。

できあがったアクセサリーは道の駅みしょうMIC、ゆらり内海、ホテルサンパールの町内3カ所で販売するほか、個人からの注文に対しては個別の要望に応じたオーダーメイドでの対応も行っています。

真珠を身近に感じることで普及につなげていきたいとの思いでアクセサリー作りの体験受け入れも行っており、「フォーマルのイメージが強い真珠をカジュアルに、ジーンズにTシャツでも身に付けられるということを知ってもらいたい」と開催の意図を説明します。

ものづくりへの意欲は高く、「お客さんの声をなるべく拾い上げて作品に取り入れていきたい」と話す若木さんは今後の展望について、「より良い製品作りを行うとともに、真珠が好きな人を増やしていきたい」と真珠の需要拡大を見据えていました。



▲真珠の個性を見極め、輝いてほしいという思いを込めて制作したネックレス。



▲作品作りを行う若木さん。枠に真珠を取り付けて一つの製品として完成させます。